

**平成 28 年度事業報告及び附属明細書**  
(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

1. 庶務報告

(1) 総会

平成 28 年度通常代議員総会を平成 28 年 6 月 17 日、富山国際会議場（富山市）において開催し、次の議案を可決した。

- 第 1 号議案 定款の一部改正案の件
- 第 2 号議案 平成 27 年度収支決算書の件

(2) 理事会、委員会等の開催（メール審議）

平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日）は、以下の通り開催した。

代議員総会	6 月 17 日				
理事会	5 月 8 日	12 月 11 日	2 月 5 日		
幹事会	6 月 16 日				
業務担当理事会	4 月 29 日	7 月 10 日	11 月 27 日	1 月 22 日	
編集委員会	5 月 24 日	8 月 26 日	11 月 10 日	12 月 22 日	3 月 31 日
	(6 月 28 日、7 月 5 日、9 月 14・21 日、11 月 16・21 日、1 月 27 日)				
トピックス等担当委員	6 月 18 日				
学会賞選考委員会	2 月 5 日				
タスクフォース委員会	6 月 18 日				
将来構想検討委員会	6 月 17 日	(4 月 13 日、5 月 25 日、8 月 29 日、9 月 7 日)			

(3) 会員等の状況

1) 会員の異動状況

	28.4.1	入会	退会	29.3.31	年度末退会
正会員(名)	679	36	9	706	33
学生会員(名)	30	37	5	62	35
団体会員(件)	122	1	3	123	4
賛助会員(件)	35 (57)			35(57)	2 (2)

2) 役員等(H29.3.31 現在)

名誉会員	13 名
理事	16 名
監事	2 名
幹事	22 名
功労会員	69 名
代議員	110 名
賛助会員幹事	20 名

3) 委員会等 (H28.3.31 現在)

学術・広報委員	5 名
国際交流委員	12 名
編集委員	11 名
JNSV 編集委員	11 名
トピックス等担当委員	35 名
タスクフォース委員会	17 名
将来構想検討委員会	11 名

(4) 研究業績の表彰、奨励

1) 学会賞受賞者

稲垣 賢二 (岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授)

「アミノ酸代謝に関連する FAD,PLP 及び NAD 依存性酵素の特性, 構造解析と臨床診断への応用」

影近 弘之 (東京医科歯科大学学生体材料工学研究所 教授)

「ビタミンA核内受容体機能制御剤の開発と医薬応用に関する研究」

2) 奨励賞受賞者

里村 武範 (福井大学大学院工学研究科 准教授)

「FAD 含有色素依存性新規アミノ酸脱水素酵素の機能解析と応用」

藤井 晋也 (東京大学分子細胞生物学研究所 講師)

「新たな構造基盤を有するビタミンD受容体リガンドの創製」

3) 企画・技術・活動賞受賞者

中外製薬株式会社 (小野 芳幸, 武田 聡, 樋口 義信, 川畑 宣勲)

「活性型ビタミンD3誘導体研究を通じた骨粗鬆症治療薬エルデカルシトールの創製」

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所

(梅垣 敬三, 石見 佳子, 山内 淳, 千葉 剛)

「健康食品の安全性・有効性情報データベースを介した科学的根拠に基づく情報の普及活動」

4) 功労者表彰受賞者

岩島 昭夫 (京都府立医科大学名誉教授)

岡田 美津子 (鳴門教育大学名誉教授・熊本県立大学名誉教授)

高瀬 幸子 (静岡県立大学名誉教授・長崎県立大学名誉教授)

富田 勲 (静岡県立大学名誉教授)

福田 守道 (札幌医科大学名誉教授)

5) 学生優秀発表賞受賞者

池上 寛子 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻)

「骨粗鬆症モデルマウスにおける $\alpha$ -トコフェロール摂取の影響」

及川 剛志 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯理工学専攻薬化学分野)

「種々のケイ素含有置換基を有する新規レチノイドの創製」

主馬野 祐希 (大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻)

「グリシン複合体の結晶構造が明らかにしたアミノレブリン酸合成酵素における中間体形成の制御」

高松 将士 (富山県立大学大学院工学研究科生物工学専攻)

「CYP27B1 遺伝子欠損マウスを用いた 25-ヒドロキシビタミン D3 の生理作用の検証」

遠山 枝李 (富山県立大学大学院工学研究科生物工学専攻)

「2 $\alpha$ 位にアゾール基を有するビタミンD誘導体の代謝および骨密度上昇作用メカニズムの解明」

矢引 紀江 (徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床食管理学分野)

「高脂肪食が高リン食摂取時のミネラル代謝調節機構に及ぼす影響」

6) 若手海外優秀発表賞

白井 将志 (芝浦工業大学大学院理工学研究科)

「Tocotrienols affect on the antioxidant enzyme protein expressions of high-fat diet -treated mice」

沖廣 俊介 (芝浦工業大学大学院理工学研究科)

「Determination of neurite isolation method and identification of neurite specific proteins in hydrogen peroxide-treated N1E -115 cells」

伊美 友紀子 (徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床食管理学分野)

「High phosphorus induces the lipolysis through endoplasmic reticulum stress.」

(5) その他

- 1) アメリカ栄養学会議と連携を結ぶこととなった。
- 2) 日本栄養学学術連合に加盟した。

2. 学術・広報報告

(1) 年次大会、講演会等の開催

日本ビタミン学会第68回大会は、平成28年6月17日から18日までの2日間、榊利之大会委員長によって、富山国際会議場（富山市）を会場として開催された。大会参加者数は、約350名であり、学会賞等の受賞講演、口頭による一般演題115演題発表（うち学生発表43演題）、特別講演、文化講演、シンポジウム、市民公開フォーラムが行われた。

1) 特別講演

「iPS細胞の医療応用：現況と展望」

戸口田 淳也（京都大学再生医科学研究所教授、京都大学再生医科学研究所副所長）

2) 文化講演

「320年、富山のくすりの変遷」

塩井 保彦（株式会社広貫堂代表取締役）

3) シンポジウム 「創薬・医療・ヘルスケア研究の最前線」

「分子イメージングプローブを用いた生体分子の挙動の解明と創薬への応用」

菊地 和也（大阪大学院工学研究科教授・免疫学フロンティア研究センター）

「動物のゲノム編集とその医学応用」

長嶋 比呂志（明治大学バイオリソース研究国際インスティテュート 所長・明治大学農学部生命科学科教授）

「アミノ酸メタボロミクス「アミノインデックス」による疾病リスク評価法の開発」

宮野 博（味の素株式会社イノベーション研究所 基盤技術研究所長）

「腸内環境を標的とした新たな疾患予防・治療戦略」

福田 真嗣（慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授）

「疲労病態のメカニズム解明と健康産業への新展開」

片岡 洋祐（理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 細胞機能評価研究チーム チームリーダー）

「脳卒中患者に対する再生医療の現状とその未来」

田口 明彦（先端医療振興財団・再生医療研究部長）

4) 市民公開フォーラム「ビタミンと健康」

「ビタミンについて」

末木 一夫（一般社団法人国際栄養食品協会専務理事、横浜薬科大学客員教授）

「米国におけるビタミンサプリメント：マルチビタミン・ミネラル剤を中心話題として」

天ヶ瀬 晴信（日本アムウェイ合同会社、一般社団法人国際栄養食品協会理事長）

「ビタミンEの期待される臨床的機能」

玉井 浩（大阪医科大学小児科教授）

「骨折・転倒予防におけるビタミンDの役割」

田中 清（京都女子大学家政学部教授）

「葉酸の重要な役割」

榎原 周平（兵庫県立大学環境人間学部助教）

「富山発、世界を元気にする天然アスタキサンチン」

山下 栄次（富士化学工業グループアスタリール株式会社）

「ルテイン、ゼアキサンチンと目の健康」

橋本 正史（ケミン・ジャパン株式会社、一般社団法人国際栄養食品協会副理事長）

(2) 市民公開講座

平成 28 年 11 月 19 日(土)に、山本恵子実行委員長によって、昭和薬科大学記念講堂にて「ビタミン・サプリメントを賢く使って疾患を予防」をテーマとして開催された。研修認定薬剤師制度の単位取得講座に認定されたこともあり、約 300 名の参加があった。

「遺伝子対応栄養指導さかど葉酸プロジェクト 10 年の成果」

女子栄養大学教授 香川 靖男

「サプリメントの利用において注意すべき事項」

医薬基盤・健康・栄養研究所、国立健康・栄養研究所情報センター長  
梅垣 敬三

「薬局店頭で経験したビタミンあれこれ」

医薬情報研究所/株式会社エス・アイ・シー 堀 美智子

「ビタミン D の多彩な効用-----感染症、アレルギー、癌などの発症予防効果」

慈恵医科大学分子疫学研究室教授 浦島 充佳

(3) 地区部会活動

① 中国四国地区（共催：日本農芸化学会中四国支部）

「老いも若きもビタミンでいきいき！」

平成 28 年 10 月 8 日

会場：鳥取短期大学シグナスホール

世話人：渡邊 文雄幹事

「尿を用いた新しいヘルスケアービタミンの栄養状態のセルフケア」

柴田 克己（滋賀県立大学 教授）

「知っているのに知らないビタミンCの話

～なぜ植物はビタミンCをたくさん持っているのか～

石川 孝博（島根大学 教授）

「健康寿命を担う骨格筋をビタミンでサポート」

山地 亮一（大阪府立大学大学院 教授）

② 中部地区（共催：名古屋大学大学院生命農学研究科）

「ビタミン，バイオフィクター，食と健康に関する研究会：名古屋 2016」

平成 28 年 12 月 17 日

会場：名古屋大学野依記念館

世話人：吉村 徹幹事

基調講演 「健康のための食と運動」

下村 吉治（名古屋大学大学院生命農学研究科）

特別講演 「食品成分による炎症制御」

柴田 貴広（名古屋大学大学院生命農学研究科）

内田 浩二（東京大学大学院農学生命科学研究科）

若手研究者による講演

田辺 賢一（名古屋女子大・家政）

「難消化性オリゴ糖の新規機能性の探索に関する研究」

—腸内細菌叢改善を介した腸内細菌由来ビタミン産生能に及ぼす影響—

鈴木 規恵（名古屋学芸大・管理栄養）

「緑茶カテキンの血管内皮機能調節作用及び LDL 酸化抑制作用に関する研究」

小林 美里（名大院・生命農学）

「モデルマウスを用いた食餌誘導性脂肪肝の遺伝解析」

北川 絵里奈（名古屋文理大・健康生活学部）

「ビタミン B<sub>6</sub> 欠乏ラットにおける肝臓脂肪蓄積とメチオニン代謝との関連」

(4) 共催・協賛・後援

1) 第 5 回 国際コファクター会議&2016 年酵素活性分子国際会議（共催）

共催：浅野酵素活性プロジェクト

平成 28 年 9 月 4 日(日)～8 日（木）黒部市宇奈月国際会館セレネ

- 2) 第14回 高付加価値食品開発のためのフォーラム(協賛)  
主催：日本食品・機械研究会  
平成28年9月23日(金)・24日(土) 帝人アカデミー富士
  - 3) 第3回 国際こめ油会議(後援)  
主催：ICRBO 2016 組織委員会  
平成28年10月24日(月)・25日(火) 東京大学 伊藤国際学術研究センター
  - 4) 2016年度市民講演会『寿命の限界まで20歳代の体力と美貌を維持する夢のビタミン・バイオフィクター』(協賛)  
主催：公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会  
平成28年11月21日 滋賀県立大学交流センター
  - 5) 健康な食事研究シンポジウム(後援)  
主催：特定非営利活動法人国際生命科学研究機構  
平成29年2月22日(水) アーバンネット神田カンファレンス
  - 6) シンポジウム「病気を予防する至適ビタミン摂取量を考える」(協賛)  
主催：ビタミンB研究委員会  
平成29年3月3日 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール
- (5) ホームページによる広報活動  
各種事業の案内・募集等ホームページを積極的に活用し、一般市民、会員に有用な情報を常に提供している。また、一般、マスコミからのビタミンなどに関する質問に対応した。

### 3. 編集報告

- (1) 学会誌「ビタミン」  
平成28年度は、90巻4号～91巻3号、計11冊を発行した。  
掲載論文は、総説(6)、総合論文(9)、原著(1)、ノート(2)、資料(1)、ミニレビュー(9)、オピニオン(1)、研究論文紹介(9)、トピックス(32)、レター(1)、随想(1)である。
- (2) 英文誌「Journal of Nutritional Science and Vitaminology」(JNSV)  
公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集し平成28年度発行：Vol.62-2～Vol.62-6、Vol.63-1 計6冊発行した。
- (3) 投稿規約の一部改訂
- (4) 国立情報学研究所の電子図書館事業終了に伴い、J-STAGE への移行処理を行っている。

### 4. 会計報告

次の件について検討し、理事会に諮った。

- (1) 平成27年度収支決算書類
- (2) 平成29年度収支予算書類
- (3) 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会へ研究助成申請
- (4) ICC05-AEM2016 からの寄付の申出

## 平成 28 年度事業報告 附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。